

動物愛護推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏													
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度												
事業実施方法	直営																							
補助率																								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等	[第2次福井県動物愛護管理推進計画]																		
[解決すべき問題・課題]																								
動物愛護センターの利用者数について年間4,000人を目標としている(森林整備・林業等振興整備交付金関連)が、現状は3,000人前後と目標に達していない。令和2年度にセンター周辺施設の整備工事を行ったことを踏まえ、県民への情報発信およびセンター機能強化による利活用の促進を図る必要がある。																								
[事業目的]																								
人と動物が健康で明るく共生する社会の実現をめざし、県民に対し、動物とのふれあいを通じて命の大きさを考える場や、動物のことを正しく知ってもらうための機会をより多く提供するため、センターにおける動物愛護の機能を強化する。																								
[事業内容]																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">①</td> <td style="width: 45%;">幼稚園や小学校等に出向いて愛護教室を実施し、命の大切さを伝える</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">477千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>「看板犬」とのふれあいにより福祉施設等の入所者に「安らぎ」を届ける</td> <td style="text-align: right;">ゼロ予算</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>収容犬猫とのふれあいや飼養体験から「命を守る責任」について啓発</td> <td style="text-align: right;">462千円</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>SNS等の活用により譲渡対象動物について情報発信</td> <td style="text-align: right;">ゼロ予算</td> </tr> </table>													①	幼稚園や小学校等に出向いて愛護教室を実施し、命の大切さを伝える	477千円	②	「看板犬」とのふれあいにより福祉施設等の入所者に「安らぎ」を届ける	ゼロ予算	③	収容犬猫とのふれあいや飼養体験から「命を守る責任」について啓発	462千円	④	SNS等の活用により譲渡対象動物について情報発信	ゼロ予算
①	幼稚園や小学校等に出向いて愛護教室を実施し、命の大切さを伝える	477千円																						
②	「看板犬」とのふれあいにより福祉施設等の入所者に「安らぎ」を届ける	ゼロ予算																						
③	収容犬猫とのふれあいや飼養体験から「命を守る責任」について啓発	462千円																						
④	SNS等の活用により譲渡対象動物について情報発信	ゼロ予算																						
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 4,500人(センター利用者4,000人、出張動物愛護教室500人)																		
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)																	
市町との連携状況	・市町および福井県獣医師会との間で、県の動物愛護施策等に関する動物愛護担当者研修会を実施 ・市町の施設を利用して、動物愛護パネル展、犬猫譲渡会、動物愛護教室等を実施(※新型コロナウイルスの感染状況に応じて実施)					他県の状況	北海道・岩手県が動物愛護センター未設置																	

動物愛護推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R2 年度 事業 開始 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					R2 年度 経過年数
補助率	0								□ その他					2 年
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	939			諸収入	320		619	福井市からの受託収入						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					28,300	939	動物愛護棟（猫飼育室）建築工事、多目的広場等（屋外）の張芝工事、センター案内看板設置工事等が令和2年度で完了したため、予算額が減少した。							
2月現計予算額の推移					27,902									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由	令和2年度は、動物愛護棟（猫飼育室）建築工事、多目的広場等（屋外）の張芝工事、センター案内看板設置工事等を実施したため、工事請負費、備品購入費が増加した。													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	犬猫とのふれあい体験および動物飼養体験 (目標)			152	(300)	(300)	(300)	(300)	犬猫とのふれあい体験および動物飼養体験（300人／年間）					
	実績													
活動指標	開催回数 (目標)			(6)	(12)	(12)	(12)	(12)	毎月1回第4日曜日					
	実績			6										
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・出張愛護教室を実施 ・犬猫とのふれあいや体験および動物飼養体験 ・猫飼育室の増設工事（完了） ・屋外広場の養生（完了） ・施設案内看板等の設置工事（完了） 				<ul style="list-style-type: none"> ・出張愛護教室を実施 ・犬猫とのふれあいや体験および動物飼養体験 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 27,361			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏	
事業主体	各市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S63 年度 経過年数 34 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	市町1/3 県1/3 国1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [] 政策 []				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] し尿と生活排水を併せて処理する合併浄化槽を整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生を向上させる必要がある。												
[事業目的] 令和元年度に取りまとめられた「福井県内の污水処理施設整備の現状と見通し」において、令和7年度末の污水処理人口普及率は99.3%になると見込まれ(令和元年度末96.4%)、今後も浄化槽整備区域内の未普及地域において、浄化槽の計画的な整備を図る必要がある。 また、し尿と生活排水を併せて処理する浄化槽を整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生の向上に寄与する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町が行う合併処理浄化槽設置整備事業（浄化槽設置者に対する設置費用の助成）に補助する。 <p> 事業主体 市町（一部事務組合を含む。） 補助率 補助基準額と市町が補助した額を比較していずれか少ない額の1/3 対象浄化槽 浄化槽および20人以下かつ高度処理型の変則浄化槽（ただし、国の交付金を受けたものに限る。） 補助基数 246基 補助金の交付 浄化槽の設置に要する経費のうち社会的便益に相当する分（4割）に対して補助する。 また、単独浄化槽から合併浄化槽への転換に係る単独浄化槽の撤去および宅内配管工事費に対して補助する。 </p>												
[受益者] ・ 浄化槽整備区域内の未普及地域に住む県民						[想定される受益者数] 1650人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	市町も県と合わせて1/3補助する。					他県の状況			41自治体で実施			

浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏			
事業主体	各市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	S63 年度 経過年数 34 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助													
補助率	市町1/3 県1/3 国1/3													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	24,631					24,631								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		43,300	43,800	47,200	32,378	24,631	浄化槽設置基数の見込み減							
2月現計予算額の推移		42,950	45,344	24,333	18,398									
決算額の推移		39,980	42,299	19,322										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29→新築物件等の減少。 ・ H30→消費税増税前の駆け込みによる設置基数の増加。 ・ R1 →消費税増税の反動による設置基数の減少。 													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	汚水処理人口普及率 (目標)	(95.7%)	(96.2%)	(96.6%)	(97.1%)		(R7:99.3%)	(100.0%)	汚水処理人口普及率＝汚水処理人口/行政人口 (H28→94.7%、H29→95.7%) 汚水処理人口は下水道や集落排水なども含むため、浄化槽のみの成果は判断し難い。					
	実績	95.7%	96.1%	96.4%										
活動指標	補助金合併浄化槽基数 (目標)	(373)	(374)	(360)	(287)	(246)			毎年、市町からの要望を受けて補助設置基数を積算している。					
	実績	275	284	174										
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
補助浄化槽基数 (R1当初) 360基 (R1実績) 174基				市町要望のとおり				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 7,747			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

生活基盤施設耐震化等補助事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏				
事業主体	福井市、大野市、鯖江市、池田町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	国 1/2、1/3、1/4														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [] 政策 []				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]															
大規模な地震などの自然災害時に、水道の浄水施設や水道管等の耐震化を図り、水道の被害を最小限におさえること															
[事業目的]															
生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援します。															
[事業内容]															
○水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援する。															
①補助対象者 福井市、大野市、鯖江市、池田町															
②補助内容 水道施設の耐震化、老朽化対策に関する事業費の一部を助成															
福井市（45,000千円）、大野市（25,500千円）、鯖江市（50,000千円）、池田町（59,400千円）															
③補助率 2分の1、3分の1、4分の1（県1/2、1/3、1/4）															
[受益者] 福井市、大野市、鯖江市、池田町						[想定される受益者数] 342,196人（平成30年度末給水人口）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	水道事業体（福井市、大野市、鯖江市、池田町）に対して、生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援する。					他県の状況	東海北陸ブロック全ての県で実施している								

生活基盤施設耐震化等補助事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏		
事業主体	福井市、大野市、鯖江市、池田町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	国1/2、1/3、1/4								<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	179,900	179,900					生活基盤施設耐震化等交付金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		95,918	155,125	157,608	203,246	179,900	水道事業体の要望額に応じて増減する。						
2月現計予算額の推移		46,268	156,125	147,216	203,246								
決算額の推移		46,268	156,125	147,216									
前年度までの 主な増減理由	水道事業体の要望額に応じて増減する。												
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	基幹管路の耐震適合率 (上水道の県平均) (%)	(目標) 36.5 実績	(36.5) 37.1	(38.0)	(38.5)	(39.0)	(40.5)	(100)	水道施設の耐震化、老朽化対策の取組を支援し、給水の安定を図る。 (水道事業体の水道施設の耐震化等に対する補助であるため。)				
活動指標	補助事業数	(目標) 4 実績	6	5	4				水道施設の耐震化、老朽化対策の取組を支援し、給水の安定を図る。 (水道事業体の水道施設の耐震化等に対する補助であるため。)				
[事業の評価]													
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
福井市	水道管路耐震化等推進事業(老朽管更新事業)	水道事業体の事業内容に応じて変更する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
大野市	水道管路耐震化等推進事業(水道管路緊急改善事業)					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 23,346				
越前市	水道管路耐震化等推進事業(老朽管更新事業)					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					
鯖江市	緊急時給水拠点確保等事業(重要給水施設配水管)												
池田町	生活基盤近代化事業(基幹改良)												

薬剤師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	地域医療介護総合確保基金			経過年数					8 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [] 政策 []				関連する県の計画等		[医療計画、医療費適正化計画]					
[解決すべき問題・課題]												
県内の薬局に勤務する薬剤師が全国と比較してかなり不足している。												
[事業目的]												
県内の薬局に勤務する薬剤師の確保を図る。												
[事業内容]												
[(一社) 福井県薬剤師会に委託] (1) 薬剤師の県内就職促進 1,348千円 ・ 大学訪問 (学生に福井県への就職PR) ・ 高校生セミナーの開催 ・ 薬剤師のお仕事見学会 (会員薬局、病院、卸売販売見学 6回) ・ 中高生向けの薬剤師職紹介パンフレットの作成、配布 ・ 中学生向け職業体験実施 ・ 「くすりと健康フェア」の開催 付するほか、県および県薬剤師会ホームページで周知する												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 76万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 U・Iターン奨学金返還支援事業 (役割分担) 薬剤師の県内就業促進					
市町との連携状況						他県の状況	石川県：実施なし 富山県：就職説明会(病院薬剤師会に補助 地域医療介護総合確保基金) 中高生対象にお仕事体験、中高生とその保護者向け説明会 和歌山県：復職支援事業(県薬剤師会補助 地域医療介護総合確保基金) 滋賀県：人材確保事業(新卒者向け)、女性薬剤師の働きやすい環境整備事業(復職支援) (地域医療介護総合確保基金)					

薬剤師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	辻 正宏	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	地域医療介護総合確保基金					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,336			繰入金	1,336	地域医療介護総合確保基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,767	2,146	1,700	1,344	1,336	高校生セミナーをWeb開催にすることにより減額となった。					
2月現計予算額の推移		4,767	2,146	1,700	1,344							
決算額の推移		4,766	2,146	1,699								
前年度までの 主な増減理由	H30：H29に研修機器の購入があったため購入費分が減額 R1：研修会の経費を削減 R2：薬と健康フェアの開催を別の国庫委託事業で実施したため減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	薬局・医療機関従事薬剤師数 (目標) 実績				(1,189)	(1,208)	(1,269)	(1,589)	H30年度までの三師調査の結果から推計			
活動指標	訪問・セミナー参加大学 (目標) 実績			(10)	(10)	(10)	(10)	(10)				北陸地区および近畿地区の薬学部
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生セミナーの開催 ・薬剤師のお仕事体験見学会 計10回 30名参加) ・薬学生向け県内就職紹介チラシの作成 				高校生セミナーをWeb開催にて実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 8	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		